

令和 2 年 5 月 13 日現在

機関番号：34407  
 研究種目：基盤研究(B) (一般)  
 研究期間：2015～2019  
 課題番号：15H03190  
 研究課題名(和文) キャクストン版『黄金伝説』の校訂版作成：第1巻および第2巻

研究課題名(英文) Editing Caxton's \_Golden Legend\_: vols 1 & 2

## 研究代表者

田口 まゆみ (Taguchi, Mayumi)

大阪産業大学・国際学部・教授

研究者番号：30216832

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,800,000円

研究成果の概要(和文)：研究課題であるキャクストン版『黄金伝説』の校訂版2巻の作成を完了し、Early English Text Society(初期英語文献協会)に提出した。審査を経て、本協会の年2冊の定期刊行物に選ばれ、第1巻2020年、第2巻2021年の刊行が決まった。本研究課題の5年の研究期間中、海外の出版物や国際学会での発表を続け、研究の展開を国際的に発信してきた。最終年度には、初期英語文献の校訂・出版に造詣が深い第一線の研究者4名を招聘して、国際シンポジウム(日本中世英語英文学会 企画シンポジウムおよび講演会)を開催し、中英語文献の本文研究の意義を広報することができた。

## 研究成果の学術的意義や社会的意義

Early English Text Society(初期英語文献協会)は創設1864年の歴史を誇る、オックスフォード大学に拠点を置く権威である。本協会からの出版物は世界中の主要図書館に収められ、半永久的に初期中世英語文献研究に寄与する。厳しい審査があり、定期刊行物は年2冊と決まっているので、審査を通ってもすぐ出版されるとは限らない。日本の研究者として初めて本審査を通り、連続2年の即時刊行が決定したことは意義深い。また、この研究過程において、海外の研究者たちと交流を深め、招聘を継続的にを行い、国内の研究者に英語文献の本文校訂研究の可能性を示すとともに、海外の専門家たちとの絆を築いてきた。

研究成果の概要(英文)： This project aimed to produce the first two volumes of an edition of Caxton's \_Golden Legend\_, which is one of the biggest printing achievements of Caxton. We submitted this work to the Early English Text Society (based in Oxford, UK) July 2019, which was accepted smoothly. Preparations of the first volume (due July 2020) has been in progress at Oxford University Press.

In the course of the five years of this Kaken project, we have endeavoured to publish our research results in books and at international conferences, through which we have established wide relationships with various expert scholars internationally. Thus, I was able to invite four distinguished UK and Australian editorial scholars to an international symposium: Editing and the Interpretation of Texts (organized by the present author) for a special symposium at the annual conference of the Japan Society for Medieval English Studies and a lecture meeting at Kyoto University (co-sponsored by Kyoto University).

研究分野：中世英文学

キーワード：英文学 中世 写本校訂 初期刊行本 translation studies 本文校訂

1. 研究開始当初の背景

- (1) **研究代表者・研究分担者の研究領域**：研究代表者・田口まゆみは長年にわたって、14世紀末から15世紀の中世宗教文献の写本テキストの校訂・出版に携わってきた(2005、2010、2019)。この過程で中世末期における聖書と「聖書物語」の関係、また中英語訳テキストとフランス語・ラテン語の原典との関係に興味を持ち、関連の研究を発表してきた。研究分担者・徳永聡子は15世紀後半以降の揺籃期印刷本、初期印刷本研究及び書誌学を研究対象としてきた。この二人の接点として15世紀後半の揺籃期印刷本の校訂・出版を計画し、まだ校訂本が出版されておらず、しかも他の研究者が出版計画を立てていない作品から研究対象を探した。海外の研究者にも問い合わせ、調査の結果、イギリスに印刷技術を導入したウィリアム・キャクストンの大作『黄金伝説』(*Golden Legend*)を校訂・出版することを目指すことにした。
- (2) **研究対象「15世紀について」**：15世紀は中世から近世への過渡期として軽視される傾向が続いていた。そのため多くの重要な文献が研究されぬまま残っていた。しかし近年、15世紀独自の意義が再認識され、新たな関心が高まっている。中でも中世後期の俗信仰(vernacular theology)の研究が活発化してきていた。また、写本重視の中世英文学研究において、初期印刷本も視野に入れた研究が進みつつあった。
- (3) **研究対象『黄金伝説』について**：聖人伝の隆盛は中世後期ヨーロッパ文化の大きな特徴の一つである。中でも1260年頃ヤコブス・ド・ウォラギネが編纂した『黄金伝説』(*Legenda aurea*)は大きな成功を収めた。ヨーロッパ各地の現地語に翻訳され、聖書に次いでよく読まれたと言われる書物である。中英語訳は二種類あり、その一つはEETSより既に校訂版が出ている(*Gilte Legende*, ed. by Richard Hamer, EETS OS 327, 328, 339; *Supplementary Lives*, ed. by R. Hamer and Vida Russell, EETS OS 315)。もう一つが、イングランド印刷の始祖、ウィリアム・キャクストンによる翻訳である(出版は1483-84年、STC 24873, 24874)。キャクストンは同時代に大陸で人気を博した文学作品を数多く英訳したが、『黄金伝説』は、その中で最大級の大作である。学術的校訂版が刊行されていなかったため、本書の研究は一世紀以上にわたり、1900年に出版されたF. S. Ellisの現代綴り版(7 vols., Temple Classics)に依拠していた。
- (4) **研究課題の準備状況**：キャクストンによる『黄金伝説』を校訂することについて、初期英語文献の校訂テキスト出版の第一権威であるEarly English Text Society(初期英語文献協会：EETS)に前もって打診していた。EETSでは揺籃期印刷本、特にキャクストンの作品に興味を持っていたので、研究代表者の申請は快く受け入れられた。同シリーズからもう一方の中英語訳『黄金伝説』(*Gilte Legende* 全4巻)を出版したオックスフォード大学リチャード・ヘイマー氏、揺籃期印刷本の権威である大英図書館のロッセ・ヘリング博士、他多数の海外研究者の協力が得られる態勢も整った。一方、聖人伝の研究者John Scahill博士(オーストラリア・シドニー工科大学・インサーチ所属、元慶應義塾大学文学部教授)が海外共同研究者として出版計画に参画することも決まった。

2. 研究の目的

- (1) **キャクストン版『黄金伝説』校訂版の出版**：第1巻「キリストの生涯と期節」および第2巻「旧約聖書物語」の校訂テキスト原稿を完成し、EETSに提出することを目指した。残る「聖人伝」を校訂出版するためには、さらに2巻以上、その準備に数年が必要

である。5年の科学研究期間に到達可能な目標として、はじめの2巻の準備を定めた。

- (2) **原典との関係を精査**：キャクストン版は、基本的に、*Legenda aurea*の仏語訳 *Légende dorée*のうち、(c)ヴァージョンと呼ばれるフランドル版の忠実な英訳である。しかし、Caxtonが前書きで述べている通り、ラテン語原典および英語訳 *Gilte Legende*も参照している。第2巻で扱う「旧約聖書物語」は、キャクストン版にのみ見られる挿入で、この部分の大半は、ペトルス・コメストルによる *Historia scholastica* (ラテン語)と *Cursor mundi* (英語)およびウルガタ聖書に直接依拠する。*Somme le roi* (仏語)の抜粋訳、フラウィウス・ヨセフス『ユダヤ戦記』の直接的影響も見受けられる。こうした複数の元テキストとキャクストン訳との関係を精査し、後期中世に独特の翻訳文学の特徴を明らかにすることも、校訂テキストを作成する過程における研究目的とした。

### 3. 研究の方法

校訂本の準備作業は大きく(1)本文批評(転写と校訂)(2)翻訳研究(ラテン語、フランス語、中英語による翻訳元テキストとの比較)(3)作品・ジャンル研究からなり、これらを同時に進めてきた。EETSの年次理事会に毎年報告し、成果途中報告を内外へ発信するとともに関連各分野の専門研究者たちとの連携を重視した。

- (1) **校訂版作成作業**： 本文転写(transcription: キャクストン版の本文を正確に転写する)、本文校訂(editing): 句読点付け、大文字使用の決定、段落付け、本文修正、付注、語彙解説(glossary)作成。この作業のためには、綿密な一次資料調査が必須であり、現存するキャクストン版『黄金伝説』をデジタルデータで、また所蔵図書館に赴き直接調査・確認する必要があった。
- (2) **原典との照合**：以下の翻訳元テキストとキャクストン版を詳細に比較した。  
第1巻—①第一ソース: フランス語訳 *Légende dorée* フランドル版(ISTC ij00151500、ファクシミリからテキスト起こしをした)、②第二ソース: ラテン語原典 *Legenda aurea* (Herder版、ed. Bruno W. Häuptli 2014)、③第三ソース: 英語先行訳 *Gilte Legende* (British Library, MS Additional 35298)  
第2巻—④ウルガタ聖書、⑤ペトルス・コメストル、*Historia scholastica* (ed. E. Navarrus, PL 198: 1049–1722)、⑥ *Cursor mundi* (ed. R. Morris, EETS OS 57, 59, 62, 66, 68, 99, 101)、⑦ *Le Somme le roi* (上記 *Légende dorée* フランドル版に組み込まれたヴァージョン)。④~⑥の翻訳は複雑に交錯した形で組み合わせられている。⑦は“The Ten Commandments”の章にのみ使われている。
- (3) **研究連携**：海外の専門家たちと連携を取り、多数の学者から専門的知識の提供を受けることに努めた。そのために、国際学会に参加して発表し、人脈を広げるとともに、積極的に意見や助言を求めた。

### 4. 研究成果

- (1) **研究課題の完了**：研究課題「キャクストン版『黄金伝説』の校訂版作成：第1巻および第2巻」を完了した。完成原稿はEETSの審査を経て、2020年、2021年の出版が決定した。
- (2) **成果発信**：研究成果は逐次国際学会、国内学会、および研究雑誌、研究図書において公

表し、広く関連分野の研究者に発信した。

国際会議における口頭発表を毎年行った。多くの関連分野研究者から意見やアドバイスを得ることができた。また、研究網を広げることができた。

国内学会では、海外研究者を招聘し、3回のシンポジウムを開催した。国内の研究者に研究成果や可能性を広告する一方、海外の研究者と日本の研究者との絆を広め、深めることができた。

【海外からの招聘者】

- 2016 James Morey 教授 (Emory University, USA; 聖書物語研究の第一人者)
- 2017 Ann Hutchison 教授 (University of Toronto, Centre for Medieval Studies)
- 2018 A.S.G Edwards 教授 (University of Kent; キャクストンを含む広い領域の中世文学研究における第一人者)
- 2019 William Marx 教授 (Middle English Texts 監修者、Early English Text Society の評議員)、Margaret Connolly 博士 (Middle English Texts 監修者)、Janet Burton 教授 (Journal of Medieval Monastic Studies 監修者)、John Scahill 博士 (海外共同研究者)

学術雑誌および図書のチャプター執筆による発表も行った。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Satoko Tokunaga	4. 巻 113.2
2. 論文標題 The Kelmscott Golden Legend and F. S. Ellis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Geibun-Kenkyu (Journal of Arts and Letters)	6. 最初と最後の頁 83-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Tokunaga	4. 巻 88
2. 論文標題 William Caxton and 'Englising' the Legenda aurea	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Poetica	6. 最初と最後の頁 29-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Tokunaga	4. 巻 50
2. 論文標題 Wynkyn de Worde's Lost Manuscript of the Canterbury Tales: With New Light on HRC MS 46	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The Chaucer Review	6. 最初と最後の頁 30-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計14件（うち招待講演 4件 / うち国際学会 9件）

1. 発表者名 Mayumi Taguchi, Satoko Tokunaga, John Scahill, William Marx, Margaret Connolly, Janet Burton, Keiko Ikegami, Shoko Ono, Yoshiyuki Nakao, Akiyuki Jimura, Hideshi Ohno, Yoko Iyeyri
2. 発表標題 Editing and the Interpretation of Texts: Past, Present and Future Practices (企画シンポジウム)
3. 学会等名 日本中世英語英文学会 第35回全国大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mayumi Taguchi
2. 発表標題 The Golden Legend: Caxton's stories of the Bible
3. 学会等名 Sixteenth Biennial Conference of the Early Book Society (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoko Tokunaga
2. 発表標題 Caxton's Golden Legend, Medieval Liturgy and St Cuthbert
3. 学会等名 Northern Lights: Late Medieval Devotion to Saints from the North of England (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mayumi Taguchi, Satoko Tokunaga
2. 発表標題 Transcription of Printed books: Compositors, Correctors and Editors
3. 学会等名 Twenty-First Biennial International Congress of the New Chaucer Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Satoko Tokunaga
2. 発表標題 Stop-Press Variants of Caxton's Golden Legend: A Preliminary Observation
3. 学会等名 The International Workshop on Incunabula Printing Techniques, held at the Mita Campus of Keio University, 8 December 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mayumi Taguchi, John Scahill, Satoko Tokunaga; Oliver Pickering
2. 発表標題 Caxton and his Polyglot Sources: The Golden Legend (セッション発表)
3. 学会等名 Fifteenth Biennial Conference of the Early Book Society (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Satoko Tokunaga, Ann Hutchison, Tsuyosi Mukai
2. 発表標題 Book Production and Religious Writing in England and Europe c. 1400-1540 (シンポジウム)
3. 学会等名 日本英文学会、第89回大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wanchen Tai
2. 発表標題 Ember Days in the Temporale in William Caxton 's Golden Legend: A Perspective of Secular Medicine
3. 学会等名 日本中世英語英文学会、第33回東支部研究発表会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mayumi Taguchi
2. 発表標題 Bible Use in the Vernacular in the Fifteenth Century
3. 学会等名 Leeds International Medieval Congress 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mayumi Taguchi, James Morey, Yuichi Akae
2. 発表標題 Sermons and Biblical Narratives Pre- and Post-Arundel (シンポジア)
3. 学会等名 日本中世英語英文学会、第32回全国大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mayumi Taguchi
2. 発表標題 A Tale about Multi-Lingual Translators and Compilers
3. 学会等名 Fourteenth Biennial Conference of the Early Book Society (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Mayumi Taguchi
2. 発表標題 Editing Late-Medieval Religious Writings: Facing Compilers at Work
3. 学会等名 Editing and Interpretation: Literatures in Medieval England (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Satoko Tokunaga and Takako Kato
2. 発表標題 Storytelling in the Digital Age: What Copy-Specific Features Can Tell us
3. 学会等名 Fourteenth Biennial Conference of the Early Book Society (国際学会)
4. 発表年 2015年



## 〔図書〕 計4件

1. 著者名 Mayumi Taguchi/ M. Connolly, R. Radulescu (eds.), Derek Pearsall, A. S. G. Edwards, Ronald Waldron, Janet Cowen, Hans Sauer, Erik Kooper, Andrew Prescott, Julia Boffey, Oliver Pickering, Sue Powell, Veronica O' Mara, Mayumi Taguchi, Martha Driver, John J. Thompson	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Brepols	5. 総ページ数 374
3. 書名 Editing and Interpretation of Middle English Texts: Essays in Honour of William Marx (Texts and Transitions 12)	

1. 著者名 徳永聡子	4. 発行年 2015年
2. 出版社 慶應義塾図書館	5. 総ページ数 127
3. 書名 『活字文化の真髄 日本の古活字版と西洋初期印刷本』	

1. 著者名 徳永聡子 編	4. 発行年 2015年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 240
3. 書名 『出版文化史の東西 原本を読む楽しみ』	

## 〔産業財産権〕

## 〔その他〕

-

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	徳永 聡子  (Tokunaga Satoko)  (60453536)	慶應義塾大学・文学部(日吉)・准教授    (32612)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	タイ ワンチェン  (Tai Wancheng)  (10750416)	慶應義塾大学・文学部（日吉）・講師（非常勤）    (32612)	2015-2017
研究 協 力 者	スカヒル ジョン  (Scahill John)	シドニー工科大学・Insearch	